

地域問題特論Ⅱ

担当者 太田 一樹

開講時期 前期

単 位 1

●講義の概要

経営学の研究領域は多義にわたる。企業規模では、小規模企業、中小企業、大企業を対象とする研究がある。また、研究分野では、経営学は経営現象を分析する学問であることから、経済学や社会学、心理学などの理論が援用されている。さらに研究の分析者でみても、アカデミアだけでなく、経営コンサルタントや経営者などの優れた研究もある。

本講義では、経営学分野の優れた（と評される）研究について概観し、主要な理論や実証研究について、批判的視点と実践への適用可能性の視点を持ちながら、議論をしていきたい。また、各自の博士論文への援用可能性も探りながら、理論の発展性についても議論していく。

●講義の到達目標

本講義では、上記の講義概要に示したように、経営学分野の優れた理論を横断的に学ぶとともに、批判的視点を含めた学術研究や実践への適用方法とともに、博士論文を作成することのできる能力の一端を養うことを到達目標とする

●講義計画

上記の到達目標が達成できるように次のような講義を予定している。

- 第1回：経営学の研究とは
- 第2回：経営理論の組み立て方
- 第3回：経営理論の実証の方法
- 第4回：経済学ディシプリンの経営理論
- 第5回：心理学ディシプリンの経営理論
- 第6回：社会学ディシプリンの経営理論
- 第7回：既存研究のサーベイの方法
- 第8回 既存研究の検討

●成績評価基準と方法

上記の到達目標の達成度を測るために、次の方法で評価する。

- ①ディスカッションおよびプレゼン内容:40%
- ②レポート課題の内容：60%

●テキスト又は参考文献

テキストについては論文テーマを勘案して相談しながら決める。また、参考文献については適宜紹介する。

●受講上の留意点

- ①経営学分野の専門知識を修得しておくこと。
- ②議論を建設的なものにするために、事前課題は必ずやってくる。
- ③できるだけ研究テーマの先行研究を意識しながら、自らの研究のオリジナリティを意識したディスカッションを丁寧に行うこと。